

令和5年(2023年)9月4日

保護者の皆様

札幌市立山の手南小学校

校長 菅野 牧子

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について

日頃より本校の教育活動に対しまして、深いご理解と温かいご協力をいただきありがとうございます。

さて、令和5年度全国学力・学習状況調査の本校児童(調査対象:6年)の教科に関する調査の結果概要及び改善の方向と、生活習慣や学習環境に関する調査による傾向がまとまりましたので、お知らせいたします。

今後、課題や改善の方向を基に、家庭と連携を図りながら全学年の指導を充実させてまいります。ご理解とご協力のほどよろしくお願いたします。

全国の平均正答率と比較して、±3ポイント以内の差であるものは「◇ほぼ同程度だがやや上回っている」「◆ほぼ同程度だがやや下回っている」、3.1ポイント以上の差がある場合は「△上回っている」「▼下回っている」としています。

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

国語

【領域】

〔思考力・判断力・表現力等〕

「話すこと・聞くこと」

△全国平均を上回っている。

「書くこと」

▼全国平均を下回っている。

「読むこと」

◇全国平均とほぼ同程度だがやや上回っている。

〔知識及び技能〕

「言葉の特徴や使い方に関する事項」

△全国平均を上回っている。

「情報の扱い方に関する事項」

◇全国平均とほぼ同程度だがやや上回っている。

●引用したり、図や表などを用いたりして、自分の考えは伝わるように書き表し方を工夫すること。

●情報と情報の関係について理解すること。

○低学年では、身近なことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動。中学年では、調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。高学年では、目的に応じて、引用したり図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えを書く活動。これらの活動の充実を国語のみならず、様々な教科の中で図っていく。

○書いた文章を他者と読み合い、文章の良いところを見付けたり、より良い表現に見直したりする学習活動の充実。

○【順序】【全体と中心】【考えと例】【原因と結果】【主張と事例】これらの関係について、発達段階に応じ、丁寧に取り上げ、理解を深める学習活動の充実。

【領域】

「数と計算」

△全国平均を上回っている。

「図形」

△全国平均を上回っている。

「変化と関係」

△全国平均を上回っている。

「データの活用」

△全国平均を上回っている。

●正三角形など、図形の意味や性質について理解すること。

●高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に、面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること。

●伴って変わる二つの数量の関係について表や式、グラフなどを用いて考察すること。

○正三角形や二等辺三角形等、実際に作ってみる学習活動の充実。

○図形を構成する要素に着目し、基本的図形の性質や面積の公式の理解を深め合う学習活動の充実。

○二つの数量の関係を明確にするために、表やグラフを用いながら伝え合う学習活動の充実。

児童質問紙による生活習慣や学習環境に関する調査の結果から

◇全国平均に比べ「肯定的な回答が上回っている」もの◇

- 自分にはよいところがあると思う。
- 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある。
- 読書が好きだ。
- 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う。
- 日本や自分の住んでいる地域のことを、外国の人にもっと知ってもらいたいと思う。
- 学校の授業で、PC やタブレットなどの ICT 機器を使っている。
- 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。
- 授業で学んだことを、ほかの学習で生かしている。
- 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表している。
- 国語の授業の内容はよく分かる。
- 算数の授業は、将来、社会に出た時に役に立つと思う。
- 英語の勉強は、好きだ。大切だと思う。

◇全国平均に比べ「肯定的な回答が下回っている」もの◇

- 将来の夢や目標を持っている。
- いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。
- 家では自分で計画を立てて勉強をしている。
- 今住んでいる地域の行事に参加している。
- 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。
- 授業で自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。
- 算数の勉強は好き。内容がよくわかる。